


# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

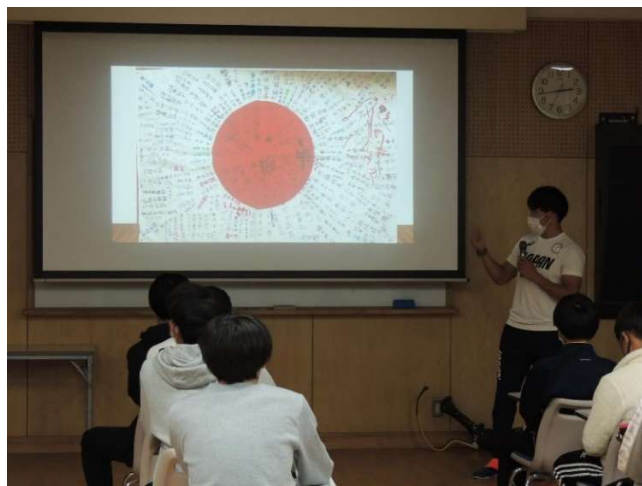
学校名【 愛知県立瀬戸北総合高等学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	2年・3年（健康科学系列） 46名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（スポーツ概論） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	(1) パラリンピアンによる講話や実演・交流を通して、夢の実現に向けて努力することの大切さや素晴らしさを知るとともに、自己の夢や目標を定め、今後の人生を切り拓く意欲を育てる。 (2) 障がいのある方との共生社会について考えを深めることができるようにする。 (3) 将来、スポーツに携わる職業を志望する生徒（健康科学系列）に対して、パラスポーツへの関心・理解を深めることができるようにする。
5 取組内容	(1) （事前）スポーツ概論 オリンピック・パラリンピックの歴史や種目について学習する。  

(2) パラリンピアン（大島健吾選手）による講話・実演

- ・講師紹介
- ・大島選手の自己紹介動画・講話
- ・実演
- ・記念撮影

〈講話・実演の様子〉





(3) (事後) 振り返り

ワークシートの記入

講話・実演を振り返り、ねらいに応じた学びができたかどうか、取組前と比べて自己の考えに変化があったかどうかについてまとめる。

6 主な成果

- 事前指導では、知らなかった種目について学ぶことができ、パラリンピックについて理解が深まったとともに興味・関心が高まったと感じた。
- 講演会では、大島選手がパラスポーツと出会ったきっかけから、これまでの競技生活や障がいと前向きに向き合われた姿をとてもわかりやすく伝えていただき、生徒の心に響く講話であった。
- 実際にパラリンピックで競技している動画を見せていただき、メダルにも触れさせていただいたことで、生徒はパラスポーツについて理解をより深めることができた。
- 実演前には生活義足から競技義足へ付け外しする場面を見たり、義足についての知識を学ぶことができたりと、大変貴重な時間となった。
- ねらいとしていた、努力することの大切さや素晴らしさを知ること、自己の夢や目標に向かって進む意欲を高めることにつながったと講演会後の生徒のワークシートから伝わってきた。

	<p>〈生徒の感想より〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕たち高校生にわかりやすく話してくれ、勇気をもらいました。</li> <li>・人生についてとても考えていて素晴らしかったです。</li> <li>・「周りの人の力を借りて自分も成長できる人になってほしい」という言葉がとても心に残りました。僕も目先の利益にとらわれず生きていきたいです。</li> <li>・今回のパラリンピックはボロボロにされて帰ってきたと言っていたが、「大会でもらった材料を使って強くなる」と前向きに発言していて、かっこよかったです。</li> <li>・銅メダルを直接触れる機会は滅多にないので、貴重な経験ができました。身体とか筋肉を見てもアスリートは違うなと感じました。</li> <li>・一緒に走ってみても、とても早く、レベルの差を見せつけられました。やはり世界で戦うことは相当厳しいことだと身に染みて分かりました。</li> <li>・パラリンピックの選手を初めて見て、いかに不自由か感じさせられた。しかし、その不自由さを感じさせない大島選手を尊敬します。</li> <li>・努力を苦痛だと感じず楽しんでいる前向きな大島選手の講話を聴いて、自分も前向きに上を目指して、自分の夢に向かって頑張りたいと思いました。</li> <li>・人間性も優れている人だと思いました。自分たちより苦労した人生を送ってきたのに、そんなことを思わせない笑顔が似合う人でした。障がいを乗り越えて努力したすごい人でした。</li> <li>・銅メダルを初めて持ってみて、思った以上に重くて、いろんな意味で重みを感じました。</li> <li>・義足で生活しているにも関わらず、私たちと変わらない生活が出来ていて、すごいと思いました。</li> <li>・今回パラリンピック選手と触れ合う機会があったので、今後はオリンピックだけでなくパラリンピックも観たいです。障がいがある人たちも全力でスポーツに取り組み、競い合うことができる場があることが素晴らしく、設けた人はすごい人だと思いました。</li> <li>・自分の夢を見つけるために日々頑張ることは大事だと思いました。人は誰かの手を借りて生きているので、恩返しを家族などにしようと思いました。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前指導でパラスポーツや講師の大島選手について触れておいたことで、興味・関心が高まった状態で当日を迎えることができた。</li> <li>・メダリストであり、地元瀬戸市で育った方を講師として依頼できたため、生徒もより身近に感じる事ができた。</li> <li>・選手の実演を見せるだけでなく、生徒と競わせることでより速さを感じさせることができた。</li> <li>・障がいのある方についての理解と共生社会について考えを深めさせたかったため、講師としてオリンピックよりパラリンピアンを選定した。</li> </ul>

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は健康科学系列のみでの実施となったが、他系列においても体育（体育理論）の授業の中でこのようなオリンピック・パラリンピックについての学びの機会があると良いと感じた。</li> <li>・パラスポーツに触れ合う機会を増やすために、用具や設備が整っているとなお充実した教育活動ができると感じている。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<p>今後も健康科学系列の生徒が様々なスポーツに興味・関心を持つことができるように、授業の中でオリンピック・パラリンピックについて取り扱っていきたい。また、健康科学系列に限らず、他系列においても関連性を持たせて、オリンピック・パラリンピックについて学ぶ機会を増やしていきたい。</p> <p>(例)</p> <p>障がい者との共生社会について学ぶ  <span style="display: block; text-align: right;">[産業社会と人間・総合的な探究の時間]</span> 地元の特別支援学校や障がい者施設に出向いてボッチャ交流会  <span style="display: block; text-align: right;">[福祉理解系列]</span> 多文化共生・国際理解及び障がい者理解講座 [国際理解系列]  ビジネスにおける障がい者の社会参加 <span style="float: right;">[ビジネス系列]</span></p>